

## Chapter

# 02

## STUDY PLAN-14M 入学生

01.履修申請	021
02.成績表の見方	026
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	027
04.卒業研究	032
05.卒業見込証明書	034
06.資格取得	034
07.カリキュラム	036

# 01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込みことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については、別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

## (1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等を確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

## (2) 専門教育科目

1年次から各年次ごとにフィールドプラクティスや演習科目が開講されています。これらの科目は、2～4時限連続で開講されるものもあります。配当年次で修得できないと、次年度の必修科目と重複する場合がありますので注意してください。

### (3) 手続方法

#### ① 履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレースメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

#### ② 登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

##### a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

##### b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

##### c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

#### 【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

#### ③ 言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学力テストの基準に達した学生に限りです。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレースメントテストの結果発表に従って履修申請してください。履修を希望しない場合は、予め教務課に申し出てください。

#### ④ 身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

## 〈体育研究室からのお願い〉

### 受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポーツ科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
  - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
  - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
  - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用に使ってください。
  - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
  - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」は、ゲーム代等別途費用がかかります。

## (4) 自由科目

他学部（自分の所属する学部以外）および他学科（自分の所属する学科以外）の専門教育科目（人間環境学部は展開科目）を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち8単位までを、専門教育科目の選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。編入生は4単位まで算入することができます。（これを「自由科目」と称します。）ただし、履修の認められない科目がありますので下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスを熟読のうえ選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる（表示されている）科目から選択してください。。

### 建築・環境デザイン学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション、生活環境、スポーツ健康	8単位 (編入生は4単位)	製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
経営	経営、商		
経済	経済、国際経済		
—	情報システム		
工	機械工、交通機械工、都市創造工、電子情報通信工		

**(5) 履修制限**

建築・環境デザイン学科には以下の履修制限がありますので、注意してください。

**14M学生に適用**

1年間に履修できる単位数	最大50単位(教職に関する専門教育科目を除く)	
学年による科目の制限	1年次:1年次配当科目を履修することができます。 2年次:1,2年次配当科目を履修することができます。 3年次:1~3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。	
フィールド教育科目	卒業までに卒業要件12単位以上(必修4単位を含む)を修得し、総合教育科目(24単位以上)、専門教育科目(92単位以上)と合わせて128単位以上修得してください。	
総合教育科目	卒業までに卒業要件24単位以上を修得し、フィールド教育科目(12単位以上)、専門教育科目(92単位以上)と合わせて128単位以上修得してください。	
	教養教育科目	留学生は、「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」の8単位を必修とします。
	言語文化科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■英語から4単位以上を必修とします。(留学生除く)</li> <li>①英語は入学初年度に限り、プレイスメントテストの結果により習熟度別クラスに分けます。</li> <li>■初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)を履修する場合は、必ず「入門1」から履修してください。</li> <li>■留学生は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>①母語を履修することはできません。</li> <li>②日本語8単位を必修とします。</li> </ul> </li> </ul>
専門教育科目	卒業までに卒業要件92単位以上を修得し、フィールド教育科目(12単位以上)、総合教育科目(24単位以上)と合わせて128単位以上修得してください。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■3年次修了時まで卒業資格最低単位数128単位のうち100単位以上を修得し、3年次までに配当された専門必修科目の未修得単位が14単位以内で、かつ、演習の未修得単位が4単位以内でないと、次年度「卒業研究」を履修することはできません。</li> <li>■既に単位認定を受けた科目を再度履修することはできません。</li> </ul>	

## 02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

### 修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

### 進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

### 来年度欄 (3年生以上)

卒見証発行	有	無	
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可	
卒研資格	有	無	済
	卒業研究履修資格有	卒業研究履修資格無	卒業研究修得済

※卒業研究の有資格者に卒業見込証明書を発行します。

- ・卒業研究履修資格欄 (3年生以上)

学年末に発表する成績表には、次年度の「卒業研究」履修の可否が表示されます。

## 03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間（編入生は2年間）以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年（編入生は2年）で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位数128単位数以上（編入生は別途定める）を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

### （1）卒業要件単位数

フィールド 教育科目	フィールドプラクティス		4単位 要件なし	12単位 以上	128 単位	学士(工学)
	フィールド関連教養科目					
総合 教育 科目	教養教育 科目	演習	要件なし	24 単位 以上	128 単位	学士(工学)
		人文科学	(留学生に限る) 4単位			
		社会科学	(留学生に限る) 4単位			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
	言語文化 科目	英語	(留学生を除く) 4単位以上			
		初修外国語	要件なし			
日本語		(留学生に限る) 8単位				
	身体科学科目	要件なし				
専門教育科目		必修、選択必修および選択科目の単位を合わせて 92単位以上(自由科目8単位を含む)				
4年以上在学						

注) 留学生は、教養教育科目分野の留学生向け科目8単位および言語文化科目分野の日本語8単位を必修とする。

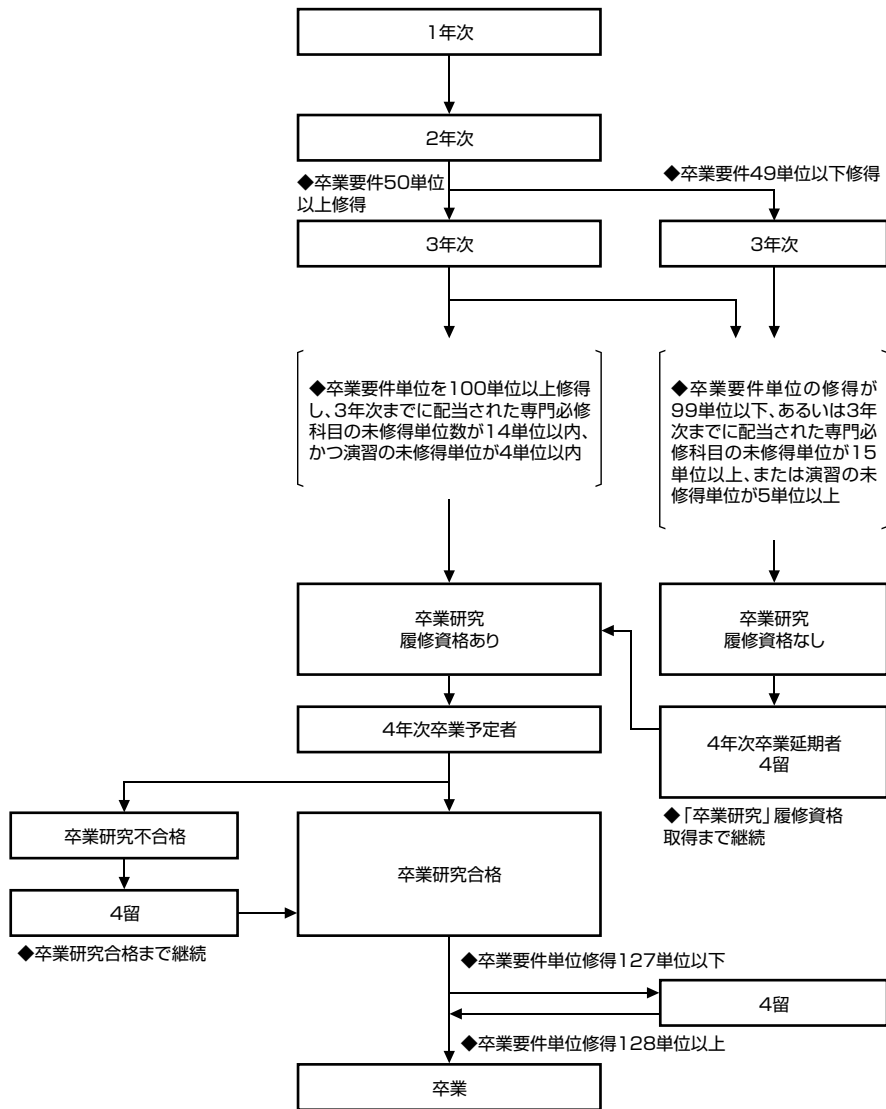


## (2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、4年間で卒業できなくなります。また、進級するためには、1年を通して在学していなければなりません。

なお、1年間で最大50単位の履修制限がありますので、計画的に修学してください。

### —進級および卒業までの流れ—



### (3) 卒業要件単位の履修要件

#### 【フィールド教育科目】12単位以上

- ①**必修科目** (卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)  
「フィールドプラクティス1」、「フィールドプラクティス2」の2科目4単位を必ず修得してください。
- ②**選択科目** (必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)  
①以外に8単位以上修得してください。

#### 【総合教育科目】24単位以上

- ①**必修科目** ※留学生のみ (卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)  
留学生は、教養教育科目分野から「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」および言語文化科目分野の日本語から「日本語読解1・2」、「日本語作文1・2」、「上級日本語読解1・2」、「上級日本語作文1・2」、計12科目16単位を必ず修得してください。
- ②**選択必修科目** (特定の科目群から指定された単位を修得します。)  
言語文化科目分野から、英語4単位以上を修得してください。なお、留学生は日本語8単位が必修なので、修得しなくてもかまいません。
- ③**選択科目** (必修・選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)  
①②以外に、20単位以上 (留学生は8単位以上) を修得してください。なお、選択必修科目の4単位を超えた言語文化科目の単位は選択科目に算入されます。

#### 【専門教育科目】92単位以上

- ①**必修科目** (卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の各履修コースの欄に○印のついた科目です。)  
以下に示す科目より、都市環境デザインコースは54単位、建築デザインコースは56単位、インテリアデザインコースは56単位、クラフトデザインコースは50単位、プロダクトデザインコースは50単位を必ず修得してください。

(各履修コースの○印は必修科目、-印は原則としてコースによって履修できない科目)

区 分	科 目 名	単 位	履 修 コ ー ス					
			都市環境 デザイン	建築 デザイン	インテリア デザイン	クラフト デザイン	プロダクト デザイン	
講義科目	理論関連科目	環境デザイン理論	2	○	○	○	○	○
	計画関連科目	環境計画論	2	○	○	○		
		都市計画	2	○	○	○		
		建築計画論	2	○	○	○		
		住居計画論	2	○	○	○		
		インテリア計画論	2		○	○	○	○
	造形計画論	2				○	○	
	デザイン関連科目	都市環境デザイン論	2	○	○	○	○	○
		建築デザイン論	2	○	○	○	○	○
		インテリアデザイン論	2	○	○	○	○	○
クラフトデザイン論		2	○	○	○	○	○	
プロダクトデザイン論		2	○	○	○	○	○	
講義および PBL科目	スキル関連科目	建築設計製図法	2	○	○	○	○	○
		デジタルプレゼンテーション論	2	○	○	○	○	○
		CAD・CG論	2	○	○	○	○	○
PBL科目	基礎演習科目	CAD・CG演習I	2	○	○	○	○	○
		CAD・CG演習II	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習I	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習II	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習III	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習IV	2	○	○	○	○	○
	展開演習科目 (キャリア教育 演習を含む)	都市環境デザイン演習I	4	○	-	-	-	-
		都市環境デザイン演習II	4	○	-	-	-	-
		建築デザイン演習I	4	-	○	-	-	-
		建築デザイン演習II	4	-	○	-	-	-
		インテリアデザイン演習I	4	-	-	○	-	-
		インテリアデザイン演習II	4	-	-	○	-	-
		クラフトデザイン演習I	4	-	-	-	○	-
		クラフトデザイン演習II	4	-	-	-	○	-
		プロダクトデザイン演習I	4	-	-	-	-	○
		プロダクトデザイン演習II	4	-	-	-	-	○
	建築・環境デザイン及び計画演習	4	○	○	○	○	○	
卒業研究	卒業研究	4	○	○	○	○	○	

## ② 選択必修科目 (特定の科目群から指定された単位を修得します。)

都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースは、以下に示す10科目20単位の中から8科目16単位を修得してください。

なお、選択必修科目としての単位を超えた修得単位は、選択科目として卒業要件単位に算入されます。

区 分		科 目 名	単位数	備 考
講 義 科 目	建 築 工 学 関 連 科 目	構造工学I	2	左記10科目20単位の中から8科目16単位を修得してください。 (クラフトデザインコースおよびプロダクトデザインコースは選択科目として扱います。)
		構造工学II	2	
		建築構法	2	
		構造計画論	2	
		建築設備工学	2	
		建築環境工学	2	
		構造材料学	2	
		建築材料学	2	
		施工法	2	
		建築法規	2	

## ③ 選択科目 (必修、選択必修科目以外の中から自由に選択して修得します。)

①②以外に、都市環境デザインコース22単位以上、建築デザインコースは20単位以上、インテリアデザインコースは20単位以上、クラフトデザインコースは42単位以上、プロダクトデザインコースは42単位以上を修得してください。

## 04. 卒業研究

### (1) 卒業研究

卒業するためには、「卒業研究」(4年次配当科目)を修得しなければなりません。「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。

「卒業研究」の履修についての質問や相談がある場合は、Web履修申請する前に教務課に相談してください。また、卒業予定者で、時間割上卒業要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課窓口で相談してください。

### (2) 「卒業研究」の履修資格

「卒業研究」を履修するためには、次の2つの条件を満たさなければなりません。

- ①卒業要件128単位のうち、100単位以上を修得していること。
- ②3年次までに配当された専門必修科目の未修得が14単位以内で、かつ演習の未修得が4単位以内であること。

## —参考—(「卒業研究」履修資格を得るために必要な科目)

下記の科目から、都市環境デザインコースは演習16単位以上を含む32単位以上、建築デザインコースは演習16単位以上を含む34単位以上、インテリアデザインコースは演習16単位以上を含む34単位以上、クラフトデザインコースは演習16単位以上を含む28単位以上、プロダクトデザインコースは演習16単位以上を含む28単位以上を修得してください。

(各履修コースの○印は必修科目、-印は原則としてコースによって履修できない科目)

区 分	科 目 名	単 位	履 修 コ ー ス					
			都市環境 デザイン	建築 デザイン	インテリア デザイン	クラフト デザイン	プロダク デザイン	
講義科目	理論関連科目	環境デザイン理論	2	○	○	○	○	○
	計画関連科目	環境計画論	2	○	○	○		
		都市計画	2	○	○	○		
		建築計画論	2	○	○	○		
		住居計画論	2	○	○	○		
		インテリア計画論	2		○	○	○	○
	造形計画論	2				○	○	
	デザイン関連科目	都市環境デザイン論	2	○	○	○	○	○
		建築デザイン論	2	○	○	○	○	○
		インテリアデザイン論	2	○	○	○	○	○
		クラフトデザイン論	2	○	○	○	○	○
プロダクトデザイン論		2	○	○	○	○	○	
講義および PBL科目	スキル関連科目	建築設計製図法	2	○	○	○	○	○
		デジタルプレゼンテーション論	2	○	○	○	○	○
		CAD・CG論	2	○	○	○	○	○
PBL科目	基礎演習科目	CAD・CG演習I	2	○	○	○	○	○
		CAD・CG演習II	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習I	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習II	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習III	2	○	○	○	○	○
		建築・環境デザイン基礎演習IV	2	○	○	○	○	○
		都市環境デザイン演習I	4	○	-	-	-	-
	都市環境デザイン演習II	4	○	-	-	-	-	
	展開演習科目 (キャリア教育 演習を含む)	建築デザイン演習I	4	-	○	-	-	-
		建築デザイン演習II	4	-	○	-	-	-
		インテリアデザイン演習I	4	-	-	○	-	-
		インテリアデザイン演習II	4	-	-	○	-	-
		クラフトデザイン演習I	4	-	-	-	○	-
		クラフトデザイン演習II	4	-	-	-	○	-
		プロダクトデザイン演習I	4	-	-	-	-	○
プロダクトデザイン演習II		4	-	-	-	-	○	

## 05. 卒業見込証明書

「卒業研究」の履修資格を得た学生は、同時に卒業予定者となり、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、クリスタルテラス）を利用してください。

## 06. 資格取得

学科によって、卒業または特定の科目を修得することを条件に資格や免許の取得で優遇されるものがあります。以下の一覧表を参考に履修コースや履修科目を選択してください。

### (1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状（情報）	情報システム学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目の修得（詳細は教職ガイドンスで説明します。）
高等学校教諭一種免許状（数学）		
中学校教諭一種免許状（数学）		
高等学校教諭一種免許状（工業）	建築・環境デザイン学科	
高等学校教諭一種免許状（工芸）		
高等学校教諭一種免許状（美術）		
中学校教諭一種免許状（美術）		

**(2) 学科あるいは特定科目の修得によって認定される資格**

資格の種類	認定の内容	対象学科	取得の要件
1級建築士	受験資格	建築・環境デザイン学科	特定科目の修得および卒業後の実務経験(2~4年)
2級・木造建築士	受験資格	建築・環境デザイン学科	特定科目の修得および卒業後の実務経験(0~2年)
インテリアプランナー	受験資格	建築・環境デザイン学科	満20歳以上 ※登録には卒業後の実務経験(2年以上)が必要。ただし、クラブデザインコースとプロダクトデザインコースについては、更に特定科目の修得が必要。
商業施設士	受験資格	建築・環境デザイン学科	卒業後の実務経験
社会福祉主事	任用資格	全学科	特定科目の修得および卒業
社会保険労務士	受験資格	全学科	卒業要件に必要とする62単位以上修得

**(3) 本学で実施する資格試験**

資格の種類	対象学科	取得の要件・その他
日本商工会議所認定簿記検定試験2・3・4級	全学科	試験合格(年3回実施されますが、本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。申込方法は、掲示板でお知らせします。)
ガス溶接技能者	全学科	ガス溶接技能講習修了



# 07. カリキュラム

## (1) フィールド教育科目

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
フィールド 教育科目	フィールド プラクティス	フィールドプラクティス1	②	12 以上	8										
		フィールドプラクティス2	②			8									
	フィールド 関連 教養科目	アートとデザイン	2		2										
		くらしとデザイン	2		2										
		まちづくり・観光とデザイン	2		2										
		自然科学とデザイン	2		2										
		メディアとデザイン	2		2										
		表現と鑑賞	2		2										
	小 計		16		12以上	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、8=週4コマの授業があることを示します。1年次には1年次の、2年次には1、2年次の、3年次には1、2、3年次の、4年次には1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合があります。

(2) 総合教育科目

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考								
				1年次		2年次			3年次		4年次					
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	前 期	後 期				
総合 教育 科目	演習	自然の形としくみ演習	3	24 以上	6									全員履修科目(留学生を除く) 全員履修科目(留学生を除く)		
		教養入門ゼミ	2		2	(2)										
		表現力基礎演習	2		2											
		プレゼンテーション演習	2			2										
	人文科学	文学	2			2										
		哲学	2			2										
		論理学	2			2										
		心理学	2			2										
		社会思想史	2			2										
		日本事情1	②			2										留学生向け科目
		日本事情2	②			2										留学生向け科目
		日本国憲法	2			2										
	社会科学	現代の政治	2			2										
		経済学の基礎	2			2										
		近代史	2			2										
		地理学	2			2										
		日本の社会と文化1	②			2										留学生向け科目
		日本の社会と文化2	②			2										留学生向け科目
	自然科学	物質科学	2			2										
		宇宙科学	2			2										
		環境科学	2			2										
		生命科学	2			2										
	学際領域	現代数学入門	2			2										
		平和学	2			2	(2)									
時事問題		2		2												
外国の社会と文化		2		2												
倫理学(工業倫理含む)		2		2												
科学技術史		2		2												

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				前:後 期:期	前:後 期:期	前:後 期:期	前:後 期:期				
総合教育科目	英語	英語(Listening&Speaking) 1	1	4 以上  ( 24 以上 )	2				(集中)		
		英語(Listening&Speaking) 2	1		2						
		英語(Listening&Speaking) 3	1			2					
		英語(Listening&Speaking) 4	1				2				
		TOEIC上級(Listening) 1	1				2				
		TOEIC上級(Listening) 2	1					2			
		英語(Reading&Writing) 1	1		2						
		英語(Reading&Writing) 2	1			2					
		英語(Reading&Writing) 3	1				2				
		英語(Reading&Writing) 4	1					2			
		TOEIC上級(Reading) 1	1				2				
		TOEIC上級(Reading) 2	1					2			
		英語総合(上級) 1	1					2			
		英語総合(上級) 2	1							2	
	英語海外研修	2			2	2					
	初修外国語	初修外国語入門 1	1	2							
		初修外国語入門 2	1		2						
		初修外国語初級 1	1			2					
		初修外国語初級 2	1				2				
		日本語	日本語読解 1	①	2						留学生向け科目
			日本語読解 2	①		2					留学生向け科目
			日本語作文 1	①	2						留学生向け科目
			日本語作文 2	①		2					留学生向け科目
	上級日本語読解 1		①			2				留学生向け科目	
上級日本語読解 2	①					2		留学生向け科目			
上級日本語作文 1	①						2	留学生向け科目			
上級日本語作文 2	①						2	留学生向け科目			
科学体 科目	スポーツ科学実習	1	2								
	運動科学	2		2							
小 計		88	24以上	42:42	16:16	2:2	0:0				

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 1年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。  
ただし、英語の2年次及び3年次配当科目については、この限りではない。
- ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。
- ハ 初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することが出来る。ただし、各言語は必ず「入門1」から履修しなければならない。
- ニ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

(3) 専門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目、-印は原則としてコースによって履修できない科目)

区分	科目	単位	履修コース				卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考		
			都市環境デザイン	建築デザイン	インテリアデザイン	クラフトデザイン		1年次	2年次	3年次	4年次			
			前	後	前	後		前	後	前	後			
専 門 講 義 科 目	景観工学	2								2				
	人間環境学	2								2				
	環境デザイン理論	2	○	○	○	○	○		2					
	建築理論	2									2			
	建築空間論	2										2		
	環境・アート論	2							2					
	色彩学	2							2					
	造形心理学	2							2					
	環境デザイン特別講義I	2									2			
	環境デザイン特別講義II	2										2		
	都市史	2								2				
	西洋建築史	2								2				
	日本建築史	2								2				
	インテリアデザイン史	2									2			
	西洋美術史	2								2				
	日本美術史	2									2			
	デザイン史	2								2				
	環境計画論	2	○	○	○						2			△コース必修
	都市計画	2	○	○	○						2			△コース必修
	建築計画論	2	○	○	○					2				△コース必修
	住居計画論	2	○	○						2				△コース必修
	インテリア計画論	2		○	○	○					2			△コース必修
	造形計画論	2				○	○				2			△コース必修
	都市環境デザイン論	2	○	○	○	○				2				
建築デザイン論	2	○	○	○	○				2					
インテリアデザイン論	2	○	○	○	○				2					
クラフトデザイン論	2	○	○	○	○				2					
プロダクトデザイン論	2	○	○	○	○				2					
構造工学Ⅰ	2									2				
構造工学Ⅱ	2										2			
建築構法	2										2			
構造計画論	2											2		
建築設備工学	2										2			
建築環境工学	2									2				
構造材料学	2											2		
建築材料学	2										2			
施工法	2											2		
建築法規	2											2		

(各履修コースの○印は必修科目、一印は原則としてコースによって履修できない科目)

区分	科目	単位	履修コース				卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
			都市環境デザイン	建築デザイン	インテリアデザイン	クラフトデザイン		1年次	2年次	3年次	4年次				
			前	後	前	後		前	後	前	後				
専 門 教 育 科 目	講義 スキル関連科目	建築意匠材料論	2							2					
		デザインマテリアル論	2								2				
	講義及PBL科目	建築設計製図法	2	○	○	○	○		2						
		デジタルプレゼンテーション論	2	○	○	○	○		2						
		CAD・CG論	2	○	○	○	○		2						
		キャリアデザイン	2								2				
	PBL科目	展開演習科目	インターンシップ	2								2			
		基礎演習科目	CAD・CG演習I	2	○	○	○	○			4				
			CAD・CG演習II	2	○	○	○	○				4			
		都市環境デザイン	建築・環境デザイン基礎演習I	2	○	○	○	○	必修	4					
			建築・環境デザイン基礎演習II	2	○	○	○	○	必修		4				
			建築・環境デザイン基礎演習III	2	○	○	○	○	必修			4			
			建築・環境デザイン基礎演習IV	2	○	○	○	○	必修				4		
			都市環境デザイン演習I	4	○	-	-	-	選択				9		△コース必修
			都市環境デザイン演習II	4	○	-	-	-	選択					9	△コース必修
		インテリアデザイン	建築デザイン演習I	4	-	○	-	-	以上				9		△コース必修
			建築デザイン演習II	4	-	○	-	-	以上					9	△コース必修
			インテリアデザイン演習I	4	-	-	○	-	以上				9		△コース必修
	インテリアデザイン演習II		4	-	-	○	-	以上					9	△コース必修	
	クラフトデザイン演習I		4	-	-	-	○	以上				9		△コース必修	
クラフトデザイン演習II	4		-	-	-	○	以上					9	△コース必修		
卒業演習を含む	プロダクトデザイン演習I	4	-	-	-	○	以上				9		△コース必修		
	プロダクトデザイン演習II	4	-	-	-	○	以上					9	△コース必修		
	造形・美術演習I	2					合計			4					
	造形・美術演習II	2					合計				4				
卒業研究	建築・環境デザイン及び計画演習	4	○	○	○	○	以上					9			
	卒業研究	4	○	○	○	○	以上						8 8		
小 計		154					92以上	14	12	32	28	71	55	17	8
フィールド教育科目、総合教育科目、専門教育科目		258					128以上	70	68	48	44	73	57	17	8
合 計															

※PBL科目:実践ベース学習(Practice Based Learning)科目

## 注) 専門教育科目の履修要件

- イ 必修、選択必修及び選択を合わせて、92単位以上とし、コース別の履修要件は、次の通りとする。
- ・都市環境デザインコースの卒業要件単位数は、必修科目54単位、選択必修科目16単位以上および選択科目22単位以上、合計92単位以上とする。
  - ・建築デザインコースおよびインテリアデザインコースの卒業要件単位数は、必修科目56単位、選択必修科目16単位以上および選択科目20単位以上、合計92単位以上とする。
  - ・クラフトデザインコースおよびプロダクトデザインコースの卒業要件単位数は、必修科目50単位および選択科目42単位以上、合計92単位以上とする。
- ロ 備考欄中の△印の付いた科目は、コースにより必修科目に指定されている科目。
- ・「環境計画論」「都市計画」「建築計画論」「住居計画論」は、都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースの3コースのみ必修。
  - ・「インテリア計画論」は、建築デザインコース、インテリアデザインコース、クラフトデザインコース、プロダクトデザインコースの4コースのみ必修。
  - ・「造形計画論」は、クラフトデザインコース、プロダクトデザインコースの2コースのみ必修。
  - ・「都市環境デザイン演習I」「都市環境デザイン演習II」は、都市環境デザインコースのみ必修。
  - ・「建築デザイン演習I」「建築デザイン演習II」は、建築デザインコースのみ必修。
  - ・「インテリアデザイン演習I」「インテリアデザイン演習II」は、インテリアデザインコースのみ必修。
  - ・「クラフトデザイン演習I」「クラフトデザイン演習II」は、クラフトデザインコースのみ必修。
  - ・「プロダクトデザイン演習I」「プロダクトデザイン演習II」は、プロダクトデザインコースのみ必修。

**12M**

**Chapter**

# 02

**STUDY PLAN-12M**  
**編入生**

01.入学区分	043
02.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	044
03.卒業研究	047
04.卒業見込証明書	047
05.カリキュラム	048

# 01. 入学区分

編入生は、入学区分(資格)が、イ、ロの1、ロの2の3つに分かれます。個人別区分は建築・環境デザイン学科において審査・認定されます。

区 分	該 当 者
イ	建築・環境デザイン学科に相当する高等教育課程※を修了した者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者
ロの1	工学系の高等教育課程※を修了した者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者
ロの2	工学系以外の高等教育課程※を修了した者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者

※高等教育課程とは

学則第13条第2項

- (1)大学院を修了した者、または大学を卒業した者
- (2)短期大学を卒業した者、または高等専門学校を卒業した者
- (3)専修学校の専門教育課程(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上)を修了した者
- (4)大学に2年以上在学し、62単位以上(卒業要件に算入されるもの)を修得した者
- (5)外国において本邦の高等教育課程と同等の課程を修了した者
- (6)本大学が指定する外国の高等教育機関において、前第4号に定める者と同等の資格を取得したと認定された者



## 02. 卒業要件単位数 (外国人留学生も共通)

### (1) 卒業要件単位数

編入生の卒業要件単位数は、次のとおりです。入学区分(イ、ロの1、ロの2)により異なりますので、間違わないよう注意してください。

<区分イ>建築・環境デザイン学科に相当する高等教育課程を修了した者もしくは本学において同等以上の学力があると認めたる者

専門教育 科目	都市環境デザインコース		66単位	学士(工学)
	必修科目	26単位		
	選択必修科目	16単位		
	選択科目(自由科目4単位を含む。)	24単位		
	建築デザインコース/インテリアデザインコース			
	必修科目	28単位		
	選択必修科目	16単位		
	選択科目(自由科目4単位を含む。)	22単位		
	クラフトデザインコース/プロダクトデザインコース			
	必修科目	26単位		
選択科目(自由科目4単位を含む。)	40単位			
2 年 以 上 在 学				

①必修科目:カリキュラム表の各履修コース欄に○印がある科目は、必ず修得してください。

②選択必修科目:都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースは建築工学関連科目分野10科目から、8科目16単位を修得してください。

\*クラフトデザインコース、プロダクトデザインコースは選択科目として扱います。

③選択科目:①②以外から選択してください。

\*都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースの選択必修科目群で16単位を超えたものについては、選択科目として扱います。

<区分ロの1>工学系の高等教育課程を修了した者もしくは本学において同等以上の学力があると認めたる者

専門教育 科目	都市環境デザインコース		76単位	学士(工学)
	必修科目	30単位		
	選択必修科目	16単位		
	選択科目(自由科目4単位を含む。)	30単位		
	建築デザインコース/インテリアデザインコース			
	必修科目	32単位		
	選択必修科目	16単位		
	選択科目(自由科目4単位を含む。)	28単位		
	クラフトデザインコース/プロダクトデザインコース			
	必修科目	30単位		
選択科目(自由科目4単位を含む。)	46単位			
2 年 以 上 在 学				

- ①必修科目:カリキュラム表の各履修コース欄に○印がある科目は、必ず修得してください。
- ②選択必修科目:都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースは建築工学関連科目分野10科目から、8科目16単位を修得してください。  
\*クラフトデザインコース、プロダクトデザインコースは選択科目として扱います。
- ③選択科目:①②以外から選択してください。  
\*都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースの選択必修科目群で16単位を超えたものについては、選択科目として扱います。

<区分口の2>工学系以外的高等教育課程を修了した者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者

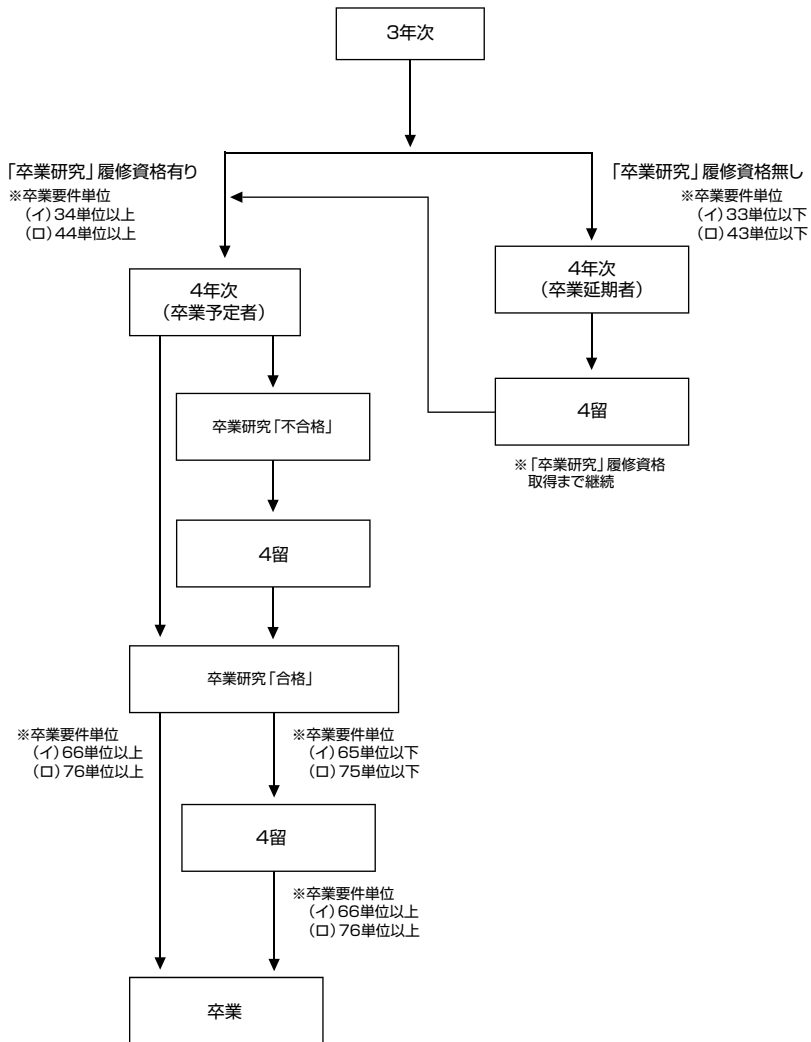
専 門 教 育 科 目	都市環境デザインコース		76単位	学 士 ( 工 学 )
	必修科目	32単位		
	選択必修科目	16単位		
	選択科目(自由科目4単位を含む。)	28単位		
	建築デザインコース/インテリアデザインコース			
	必修科目	34単位		
	選択必修科目	16単位		
	選択科目(自由科目4単位を含む。)	26単位		
	クラフトデザインコース/プロダクトデザインコース			
	必修科目	32単位		
選択科目(自由科目4単位を含む。)	44単位			
2 年 以 上 在 学				

- ①必修科目:カリキュラム表の各履修コース欄に○印がある科目は、必ず修得してください。
- ②選択必修科目:都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースは建築工学関連科目分野10科目から、8科目16単位を修得してください。  
\*クラフトデザインコース、プロダクトデザインコースは選択科目として扱います。
- ③選択科目:①②以外から選択してください。  
\*都市環境デザインコース、建築デザインコース、インテリアデザインコースの選択必修科目群で16単位を超えたものについては、選択科目として扱います。

## (2) 進級の条件

編入生は、1年間に最大54単位まで履修申請できます。修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、2年間で卒業できなくなります。また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

—進級および卒業までの流れ—



## 03. 卒業研究

### (1) 卒業研究

卒業するためには、「卒業研究」（4年次配当科目）を修得しなければなりません。「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。

「卒業研究」の履修についての質問や相談がある場合は、Web履修申請する前に教務課に相談してください。また、卒業予定者で、時間割上卒業要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課窓口で相談してください

### (2) 「卒業研究」の履修資格

「卒業研究」を履修するためには、次の3つの条件を満たさなくてはなりません。

①入学区分によって以下の卒業要件の単位を修得していること。

区分イ:34単位以上

区分ロ:44単位以上

②3年次までに配当された専門必修科目の未修得が14単位以内であること。

③3年次までに配当された専門必修科目のうち、演習の未修得が4単位以内であること。

## 04. 卒業見込証明書

「卒業研究」の履修資格を得た学生は、同時に卒業予定者となり、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、クリスタルテラス）を利用してください







(各履修コースの○印は必修科目、-印は原則としてコースによって履修できない科目)

区分	科目	単位	履修コース				卒業資格 最低単位数	週時間数				備考					
			都市環境デザイン	建築デザイン	インテリアデザイン	プロダクトデザイン		1年次	2年次	3年次	4年次						
			前	後	前	後		前	後	前	後						
専門教育科目	講義 スキル関連科目	建築意匠材料論	2							2							
	講義 講義及びCPBL科目	デザインマテリアル論	2							2							
	講義 講義及びCPBL科目	建築設計製図法	2							2							
		デジタルプレゼンテーション論	2							2							
	講義 講義及びCPBL科目	CAD・CG論	2							2							
		キャリアデザイン	2									2					
	講義 講義及びCPBL科目	インターンシップ	2									2					
		基礎演習科目	CAD・CG演習I	2	○	○	○	○	○			4					
	CAD・CG演習II		2									4					
	基礎演習科目	建築・環境デザイン基礎演習I	2							4							
		建築・環境デザイン基礎演習II	2								4						
	基礎演習科目	建築・環境デザイン基礎演習III	2	○	○	○	○	○			4						
		建築・環境デザイン基礎演習IV	2	○	○	○	○	○				4					
	展開演習科目(キャリア教育演習を含む)	都市環境デザイン演習I	4	○	-	-	-	-				9					
		都市環境デザイン演習II	4	○	-	-	-	-					9				
	展開演習科目(キャリア教育演習を含む)	建築デザイン演習I	4	-	○	-	-	-					9				
		建築デザイン演習II	4	-	○	-	-	-						9			
	展開演習科目(キャリア教育演習を含む)	インテリアデザイン演習I	4	-	-	○	-	-						9			
		インテリアデザイン演習II	4	-	-	○	-	-							9		
	展開演習科目(キャリア教育演習を含む)	クラフトデザイン演習I	4	-	-	-	○	-						9			
クラフトデザイン演習II		4	-	-	-	○	-							9			
展開演習科目(キャリア教育演習を含む)	プロダクトデザイン演習I	4	-	-	-	-	○						9				
	プロダクトデザイン演習II	4	-	-	-	-	○							9			
展開演習科目(キャリア教育演習を含む)	造形・美術演習I	2									4						
	造形・美術演習II	2										4					
卒業研究	建築・環境デザイン及び計画演習	4	○	○	○	○	○							9			
	卒業研究	4	○	○	○	○	○								8	8	
合計									76								

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合があります。

12  
M





